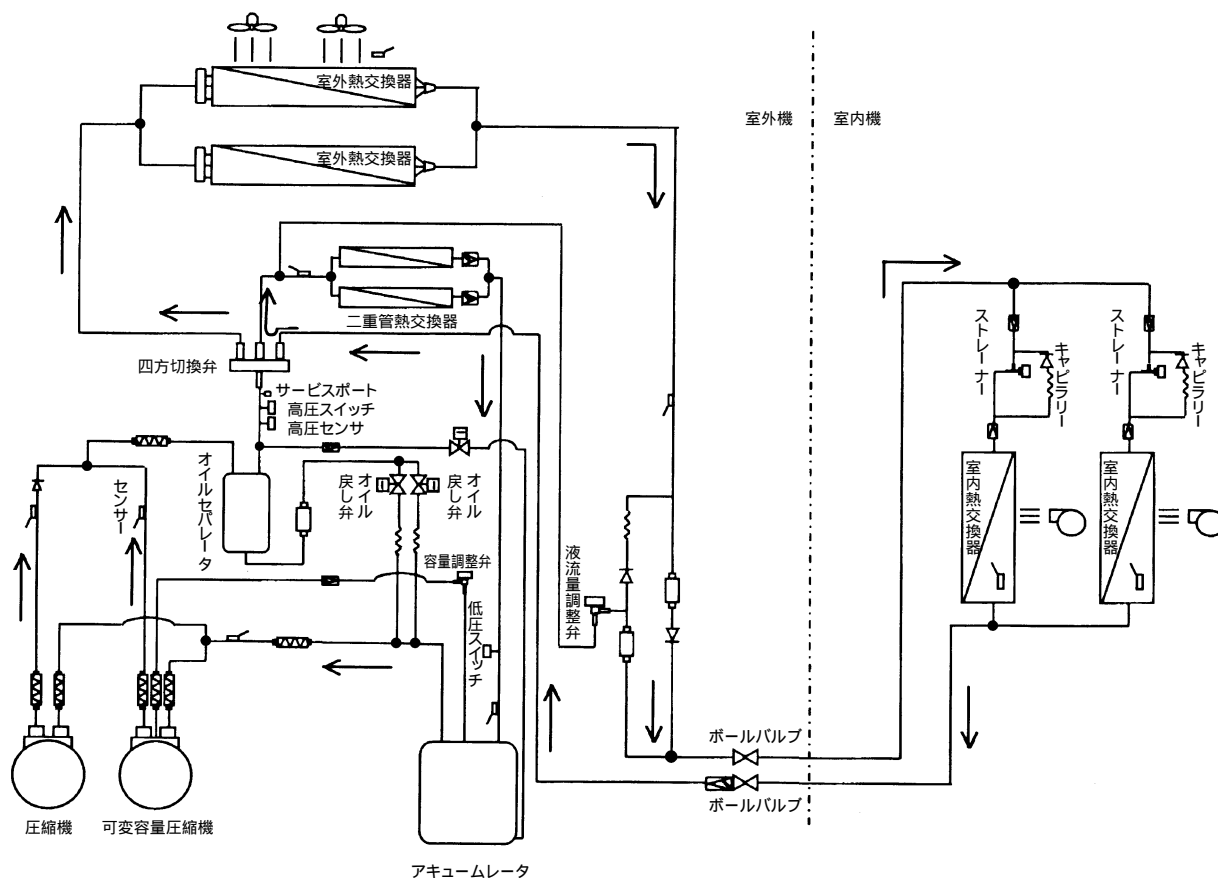


1.10 冷媒配管系統図

(1) GHCP224HM5A, 224HMT5A, 224HMTC5A,
280HM5A, 280HMT5A, 280HMTC5A

(a) 冷房運転

圧縮機を出た冷媒 (R407C) は、オイルセパレータ、四方切換弁を通過した後、室外熱交換器へ導かれ、ここで、冷媒は外気により熱を奪われ凝縮し、更に過冷却コイルにより冷媒液は過冷却状態となります。その後、配管を通り室内ユニットの電子膨張弁で減圧された冷媒は、室内交換器で室内の熱を奪い (冷房) 気化します。その後、配管を通り四方切換弁、アキュムレータを経て圧縮機に戻ります。



(b) 暖房運転

圧縮機を出た冷媒 (R407C) は、オイルセパレータ、四方切換弁を通過した後、室内機熱交換器 (室内機) へ導かれ、ここで、冷媒は室内へ熱を放出し (暖房) 凝縮・液化します。その後、室内ユニットの電子膨張弁で減圧された冷媒は、配管を通り、室外機の電子膨張弁および細管で更に減圧され、細管を通過した冷媒は過冷却コイルを経て室外熱交換器に導かれます。ここで、外気より熱を吸収し四方切換弁を通過した冷媒と合流した後、二重管熱交換器でエンジン廃熱より熱を吸収して気化します。気化した冷媒はアキュムレータを経て圧縮機に戻ります。

